

「ボクの居場所」(3歳児)

入園式から2週間めの3歳児A君です。この写真の背景にはどんなことがあるか、皆さんには想像できますか？

実は写真のA君は、1週間前まではとても手のかからない「よい子」でした。

入園間もない時期、他のお子さんたちが泣いてお母さんから離れられない時、もののわかった顔をして、一人で絵本など見て過ごしていたA君でした。



そしてこの写真の前日、ついにA君は我慢できなくなり、自分で家に帰ろうとリュックを背負い、靴を履き替えようとして先生に止められたのです。どうやら家への帰り方は分かるから一人で帰るという理屈らしいです。さんざん先生との押し問答を繰り返し、玄関なら迎えにきたお母さんが見えるからという先生の説得を受け入れて座り込みました。先生が椅子を持っていくと座ってずっと門の方を見えています。気分をかえてあげたいと思い、前日A君が見ていた絵本を持って行ってみました。そして、少し後ろにずらして(並ぶと緊張するのではないかと思いますので一歩引いてみました)立方体の積木を置き、A君を見守るように先生がそこに座ってさりげなく絵本を眺めてみました。すると、少し時間が経って気持ちが落ち着いたのかこちらを向いて興味を示したA君。一緒に絵本を眺めながら、「ここになんかあるんだよね～、昨日A君見てた時、面白そうだなあって」と言葉にすると、A君は絵本をみて説明を始めました。

この写真はその翌日の写真です。昨日、先生が作ったのとそっくり同じ環境を自分で作り出したA君です。この前には、ひとしきり泣き、興奮してグルグルと走り回りましたが、先生と話をし再び自分の気持ちに区切りを付け、自分で椅子を出してきたのです。おかしなことに出した積木の形状も色も場所まで前日と一緒にです。

まだまだ笑顔で登園できるA君ではありませんが、自分の居場所をみつけたのかもしれません。気分を換えるために必要なのは、遊具だけではありません。安心できる空間、自分の居場所があること、そして近くで見守ってくれる大人の存在があることかもしれませんね。(文責：星)